

(石見銀山遺跡)

はじめに、石見銀山遺跡についてであります。

「世界遺産登録 10 周年」を節目として、ユネスコ憲章の「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡」の認識を深め、未来へ引き継ぐ仕組みを確立するため、11 月に開催する「世界遺産学習全国サミット」などを通し、市内小中学校の石見銀山学習の取り組みを更に推進してまいります。

史跡整備や町並み保存については、国史跡である佐毘売山神社や豊栄神社の保存修理、温泉津保存地区における消火栓などの防災施設整備に、引き続き取り組んでまいります。

(地域文化)

次に、地域文化についてであります。

鳴り砂の浜「琴ヶ浜」については、早期の国の天然記念物指定を目指し、現在取り組みを進めているところです。砂浜をきれいに保つため、広く市民との協働により、日常的、かつ持続可能な保全活動を進めてまいります。

また、5 月には、本因坊戦を大森町の「熊谷家住宅」を対局会場として開催いたします。この事業を通じて、仁摩町出身で碁聖と称えられる本因坊道策名人を顕彰するとともに、本因坊道策記念囲碁大会などを通じた、世代や地域間の交流を一層推進し、囲碁によるまちづくりを進めてまいります。

(学校教育)

次に、学校教育についてであります。

学力向上への取り組みとして、平成 28 年度に引き続き多人数学級並びに複式学級に学習支援員を配置するとともに中学生を対象とした土曜日や放課後の学習の場を設置し、自ら学ぼうとする児童・生徒の支援を行ってまいります。

また、平成 28 年度から大田高等学校並びに邇摩高等学校の魅力化を支援するた

め、「県立高等学校支援連携協議会」を設置し、様々な角度から検討してまいりました。引き続き教育委員会及び各高等学校に「魅力化コーディネーター」を配置し、特色ある高等学校教育の充実に向け、積極的に取り組んでまいります。

さらに、高等学校のみならず、新年度からは幼保・小中・高の連携を図り、本市における0歳から18歳までの一貫した子育てを見通した「教育の魅力化」を図ることとしております。

このためにも、就学前の教育を意義あるものにするため、平成28年度に配置した読書活動推進員による巡回指導を継続して実施するとともに、島根県が新年度から創設する「教育魅力化推進事業」を活用し、社会教育分野も含め、幼保・小中の教育の魅力化の一体的な推進並びに高校との連携を担当する職員を1名配置してまいります。

また、学力育成に効果のある図書館活用教育を推進するため、学校図書館への司書の配置や図書の整備に引き続き取り組んでまいります。

(生涯スポーツ)

次に、スポーツの振興についてであります。

スポーツ教室や成人の体力測定の開催、子どもの体力向上や幼児期の運動経験の充実、「三瓶高原クロスカントリー大会」の開催などにより、スポーツを通じた元気と活力があふれるまちの実現を目指してまいります。

また、「大田市健康まちづくり推進方針」に基づき、ウォーキングの普及・啓発や、介護予防につながる取り組みなどを関係機関と連携・協力して進めてまいります。

(山村留学)

次に、山村留学についてであります。

山村留学事業については、効果的な運営体制の構築を行いながら、引き続き教育・学習の場の提供や交流人口の拡大、地域活性化に向けて取り組んでまいります。

とりわけ、「教育の魅力化」を進めていく観点から設置した「山村留学検討委員会」の提言を踏まえ、新たに、教育ビジョンに掲げる「生き抜く力を育てる」を目的として、市内の全ての子どもが宿泊付き自然体験活動をする場となるよう具体的な準備を進めてまいります。さらに、「移住を促し、つながる山村留学」へと発展させるよう情報発信などの取り組みを一層強化してまいります。

(国際交流)

次に、国際交流についてであります。

昭和 62 年度に韓国テジョン市と姉妹都市縁組を締結してから今年で 30 周年を迎えます。この間、青少年交流を中心に友好関係を深めてまいりました。

新年度においては、青少年交流のほか、テジョン市の関係者をお招きして、文化交流などの記念事業を行ってまいります。